

## 主 文

本件上告を棄却する。

当審における訴訟費用は被告人の負担とする。

## 理 由

弁護人吉田栄三郎の上告趣意は、刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。（論旨第二点は、単に累犯加重の憲法違反を主張するだけで、憲法のどの条規に違反するかを明示しないから、適法な上告理由といえない。なお、累犯加重が憲法三九条に違反しないことについては、昭和二十四年（れ）一二六〇号同年一月二日当裁判所大法廷判決参照。）また記録を調べても同四一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四一四条、三八六条一項三号、一八一条により裁判官全員一致の意見で主文のとおり決定する。

昭和二十七年一月二日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	霜	山	精	一
裁判官	栗	山		茂
裁判官	小	谷	勝	重
裁判官	藤	田	八	郎
裁判官	谷	村	唯	一 郎